

<目次>

- 【1】ビジネスニュース速報
- 【2】当事務所のサービス案内
- 【3】セミナー案内
- 【4】ニュースレター案内

本メールマガジンは、京都を中心に企業法務、契約書作成、労務、知的財産、再生・承継等のビジネス分野で活動する京都総合法律事務所が、ご縁のある皆様に向けて事業活動に有益な情報を提供するべく月1回発行しています。

目を通すだけでじわじわ効果が出るように心懸けています。

【1】ビジネスニュース速報

このコーナーは、日々の業務、商事法務、東京商工リサーチ等の情報から、弁護士野崎隆史が事業活動に有益な情報をセレクトしてお届けするコーナーです。

★新型コロナ関係★

緊急事態宣言発令中。

海外に目を向ければ、ワクチンの接種が世界最速ペースで進むイスラエルでは、4月22日、新型コロナでの死者が一人も報告されず（前回死者がゼロだったのは昨年6月以来）、新規感染者数も約1年ぶりの少なさを記録したようです。

イスラエル国内の新型コロナによる死者は、今年1月がピーク（1日あたり70人超）でした。

その後急減し、過去1か月は1日あたり10人未満で推移しています。

感染者数も1月半ばの1日あたり8000人超から120人前後と大幅に減っています。

ファイザー製ワクチンの接種を少なくとも1回受けた国民の割合は59%に上っているようです。

もっとも、イスラエルが成功しているのはワクチンだけのおかげではないようです。

アメリカやチリも国民の40%超が少なくとも1回はワクチンを接種しているようですが、イスラエルのような成果は収めていません。

イスラエルの成功については、厳格なロックダウン（都市封鎖）を今年2月まで続けていた

ことも要因ではないかとの指摘があります。

◆ホームページの人気記事◆

当事務所のホームページでは皆様のお役立ち記事を随時更新しています。
その中から最近よく閲覧していただいているページをご紹介します。

【宇奈月温泉事件】

この記事、大変多くの方にアクセスしていただいております、当事務所のHPで常にトップクラスのPVがあります。

宇奈月温泉は、富山県の黒部溪谷にある温泉です。

かつて「桃原」と呼ばれた無人の台地でしたが、大正時代、黒部川の電源開発が始まって以降、黒薙温泉からお湯を引いて、温泉を開く計画が進められました。

開湯は大正12年（1923年）。100年近くの歴史を誇る温泉です。黒薙温泉からの引湯管は約7.5kmにも及び、透明度は日本一とも言われています。泉質はアルカリ性の単純泉、リウマチや運動機能障害、神経症などに効くそうです。

当時、宇奈月温泉は、周辺で鉄道事業を営むY社が経営していましたが、源泉から温泉街まで引湯管が通る土地の一部を、Y社はまだ買収しきれていませんでした。

これに目をつけたXは、引湯管がその一部（2坪ほどの土地）をかすめる土地を購入し、Y社に対し、次のように要求しました。

「Y社の引湯管が私の所有地を通っているのは、不法占拠に当たるので、撤去してください。」

「引湯管を撤去しないのであれば、周辺地（合計3000坪）を、総額2万円余（現在でいうと数千万円）で買い取ってください。」

賢い…！

さて、どうなったのでしょうか。

<https://kyotosogo-law.com/accomodation-2/unazukionnsenn/>

【業務中の事故により負傷したことが法人の責任であるとして提起された訴訟を解決した例】

介護施設において利用者が職員に暴力を振るい、職員が怪我しました。

労災申請を行い、職員に対し労災給付がなされましたが、暴力事件が発生したのは介護施設の責任であるとして、労災給付で補填されない損害について賠償を求める訴訟が提起され

ました。

これをどのように解決したかと言うと…

<https://kyotosogo-law.com/seminar1-2/>

【勤務中の事故の責任は誰が負うのか？】

従業員が勤務中に交通事故を起こしたり、何らかの事故で第三者に怪我を負わせてしまったりするケースを時々耳にします。

被害弁償は当然のことですが、被害者に賠償金を支払った従業員は、会社にその一部の負担を求めることはできるのでしょうか。

それとも全額自己負担となるのでしょうか。

この問題がようやく最高裁判所で決着しました。

<https://kyoto-kigyohomu.com/?p=285>

【弁護士による労務コンサルティング】

当事務所では、使用者側の立場から労働法務に注力しており、起こってしまった労務トラブルへの対応はもちろん、何が原因でトラブルになってしまったのか、分析をして改善策を提案させていただくための労務コンサルティングプランを用意しています。

- ・従業員から多額の残業代請求を受けてしまった
- ・問題のある従業員への対応に苦慮している
- ・従業員が社外の労働組合に加入して団体交渉を申し入れてきた
- ・法律が色々かわったことは知っているが、就業規則の見直しまで手が回らない

こうした労務トラブルに関するお悩みごとに対して、弁護士ならではのサポートをさせていただきますので、是非ご用命ください。

<https://kyoto-kigyohomu.com/consulting>

当事務所ホームページはこちらです。

<https://kyotosogo-law.com/>

特にご相談の多い労務トラブル特化サイトはこちらです。

<https://kyoto-kigyohomu.com/>

◆企業法務一般◆

【株主総会】

東証が、「2021年3月期決算会社の定時株主総会の動向について」を公表しました。概要は以下のとおりです。

- ・本年3月期決算会社の定時株主総会は、6月29日（火）に最も集中する見込み
- ・最集中日の集中度は26.9%（1983年の集計開始以来最も低い水準となる見込み）
- ・発送を総会開催日の3週間以上前に行う会社は24.2%（例年と同水準）
- ・個人投資家向けにインターネットによる議決権行使を可能とする会社は、全上場会社のうち66.3%
- ・バーチャル総会の開催を予定している会社は14.0%（昨年比8.8%増加）
- ・昨年3月期の定時株主総会においてバーチャル総会を実施した会社は5.2%
- ・バーチャル総会を開催予定の会社の大多数がハイブリッド参加型での開催を予定

<https://www.jpx.co.jp/news/1021/nlsgeu000005ir6q-att/press.pdf>

◆労務◆

【採用関係】

厚労省が、新たな履歴書の様式例を作成しました。

厚生労働省履歴書様式例とJIS規格様式例の相違点は次のとおりです。

- ・性別欄は〔男・女〕の選択ではなく任意記載欄。未記載とすることも可能。
- ・「通勤時間」「扶養家族数（配偶者を除く）」「配偶者」「配偶者の扶養義務」の各項目は設けない。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_kouseisaiyou030416.html

労務トラブル特化サイトはこちら

<https://kyoto-kigyohomu.com/>

◆知的財産◆

【模倣対策】

特許庁が、模倣対策マニュアル、知的財産権侵害判例・事例集、冒認関係報告書等を工業しました。

<https://www.jpo.go.jp/news/kokusai/mohohin/manual.html>

【意匠】

特許庁が、令和3年4月に施行される改正意匠法についての説明資料を公表しました。

https://www.jpo.go.jp/news/shinchaku/event/seminer/text/isho_kaisei_shiryo_2020.html

【デザイン経営】

特許庁が、「中小企業のためのデザイン経営ハンドブック」を公表しました。

「デザイン経営」とは、デザイン的な思考を経営に活用し、企業のブランド力やイノベーション力を向上することで、国際的な競争力を高めていこうという考え方です。

https://www.jpo.go.jp/introduction/soshiki/design_keiei/chusho.html

知的財産権に関するご相談は、「知的財産チーム」が承ります。

<https://kyotosogo-law.com/top/>

◆ 広告・販売規制 ◆

【景品表示法違反】

消費者庁が、「洗たくマグちゃん」、「ベビーマグちゃん」、「ランドリーマグちゃん」に係る表示について、優良誤認に該当するとして措置命令を行いました。

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/023999/>

消費者庁が、亜塩素酸による空間除菌を標ぼうするスプレーの販売事業者2社に対し、景品表示法7条1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/023821/>

東京都が、インターネットで不当な二重価格表示を行っていた事業者に対し、景品表示法7条1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2021/03/30/43.html>

【医薬品医療機器等法（薬機法）違反】

経口抗真菌剤に本来含まれるべきではないベンゾジアゼピン系睡眠剤リルマザホン塩酸塩水和物が大量に混入した件で、行政処分が行われました。

<https://www.kobayashikako.co.jp/news/#newsid1347>

◆倒産情報◆

【帝国データバンク 倒産集計 2021年3月報】

■倒産件数は648件（前年同月比12.9%減）と、8カ月連続で前年同月を下回った。8カ月以上の連続減少は2013年8月～2015年2月（19カ月連続）以来

■負債総額は1400億5300万円（前年同月比57.3%増）と、2カ月連続で前年同月を上回った。2020年度では、2020年12月の1450億300万円に次いで3番目の高水準

■業種別にみると、7業種中4業種で前年同月から減少率2ケタ以上と大幅に下回った。一方、小売業（164件、前年同月比1.9%増）、運輸・通信業（28件、同40.0%増）、不動産業（33件、同73.7%増）の3業種は前年同月を上回った

■主因別にみると、「不況型倒産」の合計は505件（前年同月比15.8%減）

■負債規模別にみると、負債5000万円未満の倒産は411件（前年同月比12.6%減）

■地域別にみると、9地域中7地域で前年同月を下回った。最も減少率が大きいのは北陸（16件、前年同月比40.7%減）で、以下 東北（29件、同38.3%減）、九州（46件、同34.3%減）、四国（14件、同22.2%減）と続いた

■態様別にみると、破産は587件（構成比90.6%）、特別清算は35件（同5.4%）となった

■負債額最大の倒産は、（株）F-Power（東京都、会社更生）の約464億円

<https://www.tdb.co.jp/tosan/syukei/2103.html>

【東京商工リサーチ 月次 全国企業倒産状況】

2021年3月度の全国企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が634件（前年同月比14.3%減）、負債総額は1,414億5,300万円（同33.5%増）だった。

件数は、2020年7月から9カ月連続で前年同月を下回った。これは2012年11月から2014年3月まで17カ月連続で減少以来の長さ。3月度では1972年以降の50年間で1990年（502件）、1973年（624件）に次ぐ、3番目に少ない件数となった。コロナ禍での各種支援策が奏功し、倒産は抑制された状態が続いている。

負債総額は、2020年7月以来、8カ月ぶりに前年同月を上回った。負債額が増加したのは、（株）F-Power（負債464億8,500万円）、（株）JCサービス（同153億4,200万円）の負債100億円以上が2件発生（前年同月ゼロ）したため。ただ、3月としては50年

間で、1975年（1,374億9,600万円）に次ぐ、11番目に低い水準にとどまった。
負債1億円未満は482件（前年同月545件、構成比76.0%）と全体の8割弱を占め、小・
零細規模の倒産を中心に推移している。
3月の「新型コロナウイルス」関連倒産は、151件（同13件）発生し、2020年2月の114
件を抜いて月間最多を更新した。2020年2月からの累計は、1,162件に達した。
<https://www.tsr-net.co.jp/news/status/monthly/202103.html>

再生や倒産は「再生・破産対策チーム」にご相談ください。
経営者保証ガイドラインの利用により経営者の破産を回避した実績もあります。
<https://kyotosogo-law.com/top/>

【2】当事務所のサービス案内

京都総合法律事務所は、訴訟はもちろん、予防法務・戦略法務に力を入れ、訴訟で培った解
決力で紛争の芽を摘み取ります。

① リーガルサポート

従来の顧問契約のイメージから一歩進み、皆様の実情を積極的に理解し、適切な対応を瞬
時に行うという信念のもと、サービス内容を可視化し、明確にしました。

・それぞれが専門分野を持ったパートナー弁護士全員が企業活動を総合的かつ多角的に
サポート

- ・案件に応じて適切な弁護士がアサインすることで全ての案件にベストな解決をご提案
- ・サポートする弁護士が増えても月額料金は同じ

という特長を備え、予防法務はもちろん戦略法務の観点からも幅広くご利用いただいで
います。

<https://kyotosogo-law.com/post-3164/>

② クレームガード

月額3万円から始められるクレームガード。

ライトプランでは、クレーム対策の要である「悪質クレームか否か」の判断を弁護士がサ
ポートします。

スタンダードプランでは、担当者相談窓口を設置し、マニュアルもサポートします。

プラスプランでは、クレーム直接対応や研修もサポートします。

<https://kyotosogo-law.com/customertrouble/>

③ 契約書サポートプラン

契約書を制する者が、ビジネスを制します。体裁を整えるだけでは不十分です。

私たちは、皆様の業務の実情と照らし合わせてスムーズに機能するかどうかまでチェックし、チェックした弁護士がアフターフォローを担当します。

対応件数に応じて、ライト・スタンダード・プラスの3種類のサービスをご用意しています。

スポット対応（1万5000円～）も可能ですので、お気軽にご相談ください。

<https://kyotosogo-law.com/keiyakusyosakusei/>

【3】セミナー案内

緊急事態宣言を受けて5月以降のセミナーについて現在日程等を調整中です。

なお、過去1年間の実績は以下のとおりです。社内セミナーへのアレンジも承ります。

2020年6月10日（水）、16日（火）

「休業手当を支払う対象と期間」

弁護士伊山正和

2020年7月8日（水）、20日（月）

「労働契約の終了（内定取消、整理解雇）」

弁護士伊山正和

2020年8月4日（火）、27日（木）

「テレワーク導入における労働時間管理と残業代の支払い」

弁護士伊山正和

2020年8月26日（水）

「特定調停スキーム活用の実務 ～新たな債務整理手続の方法とは～」

弁護士野崎隆史

2020年9月3日（木）

「類型別問題社員の対応における留意点」

弁護士伊山正和

2020年11月10日(火)、11日(水)、13日(金)

「最高裁判決最速解説 同一労働同一賃金」

弁護士伊山正和

2020年12月10日(木)

「悪質クレマーによるカスタマーハラスメント・クレーム対応」

弁護士野崎隆史

2021年2月17日(水)

「類型別問題社員対応セミナー ①ローパフォーマンス社員」

弁護士伊山正和

2021年3月9日(火)

「類型別問題社員対応セミナー ②欠勤を続ける社員」

弁護士伊山正和

2021年4月13日(火)

「景品表示法・広告規制の実務」

弁護士野崎隆史

2021年4月22日(木)

「類型別問題社員対応セミナー ③会社の指示に従わない社員・協調性を欠く社員」

弁護士伊山正和

セミナーのお問い合わせ、お申し込みは…

<https://kyotosogo-law.com/inform/>

【4】ニュースレター案内

News Letter vol.10 を発行しました。

- ・「初回無料」の罠 (弁護士竹内まい)
- ・広告規制入門・薬機法編 (弁護士野崎隆史)
- ・生徒の演奏も著作権侵害？ (弁護士拾井美香)

添付のPDFをご覧ください。

バックナンバーは…

<https://kyotosogo-law.com/category/letter/>

【編集後記】

2021年4月号、いかがでしたでしょうか？

いやあ、阪神タイガースは素晴らしいですね！

あまり浮かれていると足元をすくわれるといけないので、ここでも気を引き締め、浮かれた記事は控えておきます。

ロハス選手とアルカンタラ選手も合流し、ベンチワークも楽しみです！

F1 第2戦エミリア・ロマーニャ GP、マックス・フェルスタッペン選手（レッドブル・ホンダ）が素晴らしいリザルトでした。

雨という難しいコンディションの中、決勝のスタートダッシュを見事に決めたマックス・フェルスタッペン選手。

完璧なレース戦略を構築したチームとそれに応えたドライバー。

開幕からメルセデスと激しいトップ争いなんて、本当に素晴らしいことです。

予選でセルジオ・ペレス選手がマックス・フェルスタッペン選手を上回ったことも良いニュースです。

それにしても、ルイス・ハミルトン選手（メルセデス）は凄まじいですね。

予選でしっかりポールポジションを獲得するのも相変わらず見事ですが、あんなトラブルに見舞われながら2位までリカバリーするとは…。

今年は毎レース素晴らしいバトルが見られそうな予感で、とても楽しみです。

今回はミスが多かった角田裕毅選手。

でも、失敗は成長の糧。

優勝そしてワールドチャンピオンとなる日を待っています！

三度目の緊急事態宣言。

夜明け前が最も暗い。

我々は絶対に克服できます。

それでは皆様、またお会いしましょう。

（弁護士 野崎隆史）

本メールマガジンは、顧問先の皆様、HP からご登録いただいた方、当事務所が過去に連絡先を交換させていただいた方、セミナーにご参加いただいた方にお送りしています。ご意見、ご要望、送信先変更、配信停止等は、以下のお問い合わせフォームからご連絡ください。

<https://kyotosogo-law.com/inform/>

今後とも皆様のお役に立てるよう研鑽を重ねます。

【京都総合法律事務所】

〒604-0924

京都市中京区河原町二条南西角 河原町二条ビル 5 階

TEL 075-256-2560

FAX 075-256-2561

<https://kyotosogo-law.com>

労務トラブル特化サイト

<https://kyoto-kigyohomu.com/>

弁護士 野崎隆史

nozaki@kyotosogo-law.com